

# 何ができるか考えよう!

親子で学ぶ

# 食と暮らしの安全

消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省はこの夏休み、全国4カ所でイベントに出展しました。

消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省は、夏休みの期間におこなわれた「夏休み2016 宿題・自由研究大作戦!」朝小サマースクール in 昭和女子大学2016に参加しました。「何ができるか考えよう! 親子で学ぶ、食と暮らしの安全」をテーマに、食べものやふだんの生活の安全について、ミニセミナー、ワークショップなどを通じ、親子で考えてもらいました。約5,400名\*の親子にご来場いただき、食と暮らしの安全についてあらためて考え、これからもっと気をつけることを約束してくれました。

\*消費者庁調べ

## ワークショップ 気になる「もんだい」を選んで自分だけの新聞づくり



こんな問題を考えました!  
「12のもんだい」からピックアップ 答えは[ ]のなかです。

- ジャガイモの芽やみどり色のところは、しっかり取りのぞいてから食べる。[O]
- 食中毒は、ばい菌が原因なので、あつい夏にだけおこる。[X]
- 新鮮なお肉なら、食べるまでは生のお肉をつかんでも、半日で火をとおさず赤いまま食べてもよい。[X]
- もともと地球には放射性物質があって、人は昔から放射線を受けている。[O]
- 花火で遊ぶときは、水の入ったバケツを用意すれば、子どもだけでやてよい。[X]
- テーブルタップは、差込口の数だけ、いくつでも電気製品をつないでよい。[X]

ワークショップでは、「食と暮らしの安全を守る」新聞と「新聞用12のもんだい」が手わたされます。新聞の中間には「安全に食べて暮らしていくために、みんなに知ってほしいのはこんなこと!」が書かれていて、まずはそれを読んで勉強。ミニセミナーで教わったことも合わせて、「12のも

んだい」から気になる問題を2つ選んで、新聞の裏面にはります。答えと理由を書いて、色を塗れば、自分だけのオリジナル新聞が完成! 「よくできました」のスタンプを押してもらって、これから気をつけることを約束しました。

## ステージセミナー

### 売っている食べ物は安全!

放射性物質が基準値を超えていないかちゃんと検査しています

知ろう! 考えよう! 親子で学ぶ、食品中の放射性物質



多くの親子が質疑に聞き入っていました

ステージプログラムでは、東京大学の小豆川勝見先生が「放射性物質」について教えてくれました。放射性物質という怖いイメージがあるけど、まずは放射線の特徴を知っておくことがだいじ。小豆川先生は、放射線を見つける機械を使って、隠した放射性物質を探したりしながら、食べ物の中の放射性物質の測り方や注意することを教えてくれました。



消費者庁の大浦さんは、食べ物の放射性物質にはすべての方が安心して食べられるように「基準値」が決められていると教えてくれました。お店で売られている食べ物はこの基準値を超えたら売ってはいけないというルールがあり、基準値を下回る食べ物のみが流通するように検査が行われています。

## アプナイカモが注意を呼びかけ



「子どもを事故から守る! プロジェクト」シンボルキャラクターのアプナイカモが人気。身の回りの危険に気をつけるよう子どもたちに呼びかけました。

食べ物と暮らしの安全を守る約束 わすれないでね!



内閣府食品安全委員会  
厚生労働省 農林水産省

## ミニセミナー 6つのテーマをクイズで楽しく勉強



ミニセミナーでは、各府省の担当者が先生になって、6つのテーマで勉強しました。じっさいにモノを使ったり、クイズをしたり、わかりやすく、楽しみながら学びました。

Q&Aで学ぼう! 食品中の放射性物質/消費者庁  
放射能ってなに? 食べ物は安全? ルールはあるの? お話をきいて学ぼう!  
身の回りの事故を防ごう!  
身の回りの電気製品について動画を見ながら正しい使い方を学ぼう!  
教えてね、アプナイカモ〜クイズで学ぼう! 子どもの安全〜  
身の回りには、こんな危険があるから気をつけて! アプナイカモとクイズで学ぼう!  
食品の安全について学ぼう/内閣府食品安全委員会  
食べ物の「安全」ってどんなこと? 気をつけることは? いっしょにクイズに挑戦だ!  
きみの手あらいい丈夫?/厚生労働省  
手のよこれをチェックして、意外と知らない正しい手のあらい方をおぼえよう!  
たのしい食生活を送るために〜食中毒を防ごう〜/農林水産省  
ちゃんとできてるかな? 食中毒予防について、クイズで学ぼう!